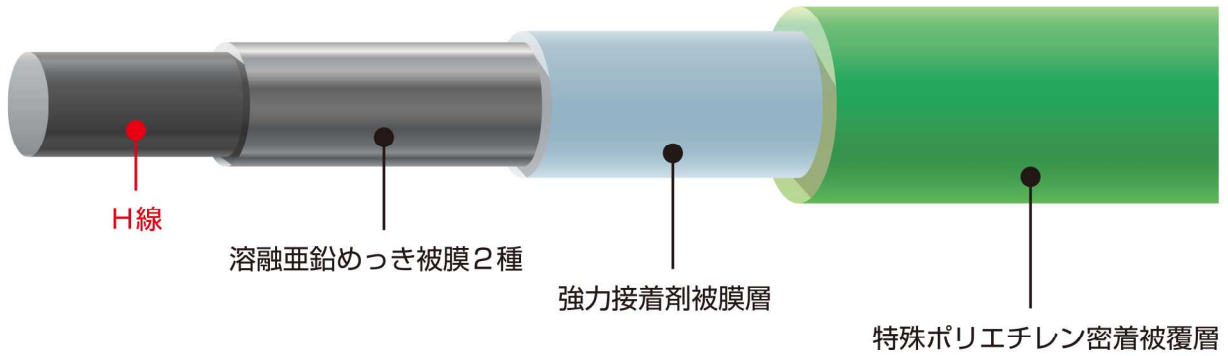




ポリエチレン樹脂被覆鉄線 SWME-GH2



特長

- 心線材に高強度の亜鉛めっき鋼線 (H材) を採用し、S材に比べて強度が約30%向上
- ポリエチレン被覆と亜鉛めっき硬線を密着させる高機能接着樹脂により、良好な加工性
- 紫外線劣化対策を施した特殊ポリエチレン密着被覆層により30年以上の耐候性。耐寒性においても -60°C の環境下でその特性を維持

線材性能比較表

従来被覆鉄線と高強度被覆鉄線の比較

	被覆鉄線の種類 (JIS G 3543)	心線の種類 (JIS G 3547)	外径-心線径 (mm)	被覆鉄線の引張強さ (N/mm^2)	被覆鉄線の破断荷重 (N)
従来	SWME-GS2	SWM-GS2	3.2-2.3	290~540	1,210~2,240
高強度	SWME-GH2	SWM-GH2	3.2-2.3	590~880	2,450~3,650

面的強度比較

面的強度比較の試験について

供試体 ポリエチレン被覆亜鉛めっき鉄線製 ひし形金網JIS G3552
φ3.2mm×50mm E-GS2・E-GH2

試験方法 圧縮試験機を用いて、試料 (1,000mm×1,000mm) の中央に荷重 (P) を加え (押しジグの下向き移動速さ: 100mm/min) 最大荷重 (P max) を測定した。



	ひし形金網の種類 (JIS G 3552)	外径-心線径 (mm)	網目寸法 (mm)	被覆鉄線の引張強さ (N/mm^2): 平均値	面的強度 (kgf): 平均値
従来	E-GS2	3.2-2.3	50	483	676
高強度	E-GH2	3.2-2.3	50	687	894

約
1.3
倍